

南海トラフ地震

フィリピン海プレートとユーラシアプレートが接する駿河湾から日向灘沖までの南海トラフでは、おおむね100~150年間隔で巨大地震が発生しており、前回の昭和東南海地震(1944年)、昭和南海地震(1946年)から70年以上が経過した現在、次の巨大地震発生切迫性が高まっています。

最大クラスの南海トラフ地震が発生した場合、福井県では最大震度5弱の揺れが想定されています。

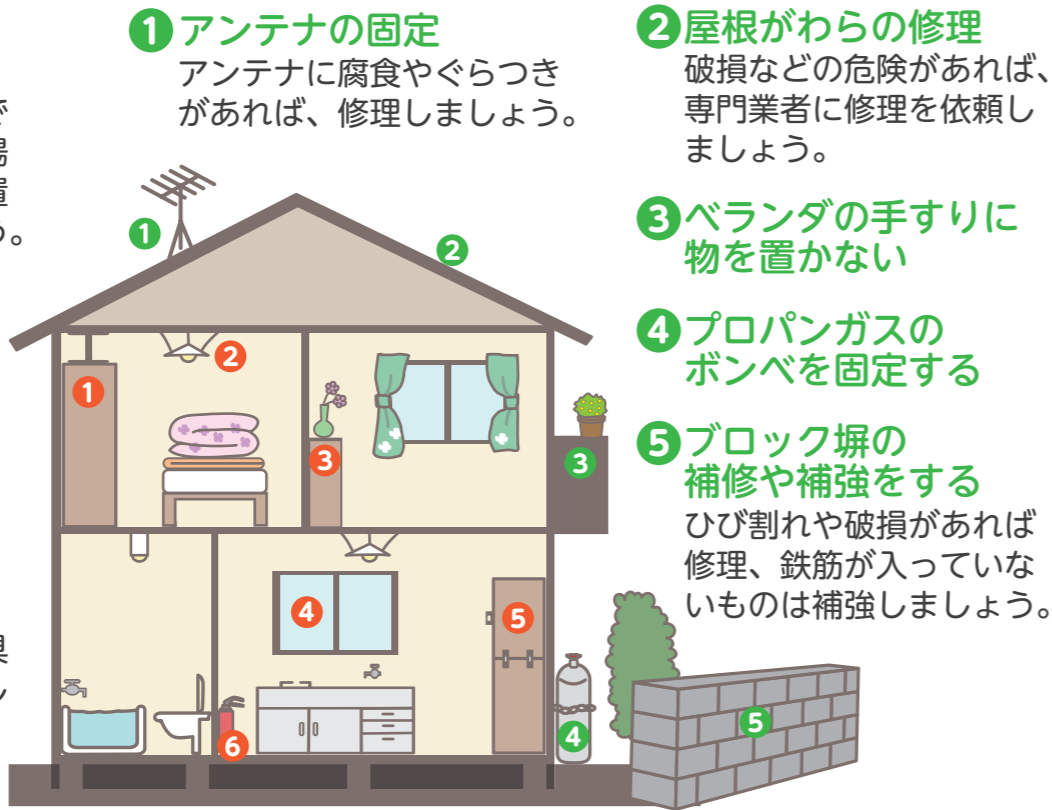
気象庁パンフレットより



地震災害への備え

家の中や家の周りで事前に対策しておけば、大きな被害の発生を防ぐことができます。身の回りを確認して、地震災害に備えましょう。

- 1 家具の固定と配置の見直し
2 照明器具の固定
3 棚の上に危険な物を置かない
4 ガラスに飛散防止のフィルムを貼る
5 食器棚の飛び出し防止対策
6 火元に消火器を置く



わが家の耐震性をチェック!

- 昭和56年5月以前に建てられた建物は耐震性が不足している可能性があります。
南越前町には以下のような災害対策のための助成制度があります。

- 1 木造住宅耐震診断等促進事業
2 木造住宅耐震改修促進事業補助金

※問い合わせ先：町役場建設整備課

地震発生時の心得

まず身を守る!

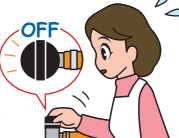
家具の転倒や落下物から身を守るため、丈夫な机の下などに身を隠して、頭を保護します。



在宅中の場合

落ち着いて火の始末!

揺れがおさまってから、あわてずに火の元を確認し、出火した場合は落ち着いて消火します。



外に飛び出さない!



あわてて外に飛び出すと、ガラスや瓦などの落下物によるけがのおそれがあります。



避難口を確保する!

地震の揺れで、ドアが開かなくなることもあるので、玄関、窓などを開けて避難口を確保します。

裸足で行動しない!

ガラスや食器のかけら等が散乱している場合があるので、室内でも靴などを履きましょう。



家族の安全確保と避難準備!

家族の安全を確保して、余震に注意しながら、避難に備えて非常持出品を手元に用意しましょう。



出口に殺到しない!

出口に殺到せず、冷静に、なによりも身を守る行動をとしましょう。



外出中の場合

エレベーターは使わない!

エレベーターは、余震で停止したり、煙や火の通り道となるため、階段で避難しましょう。



路上では落下物・転倒物に注意!



ブロック塀・自動販売機などの転倒や、看板やガラスなどの落下に注意しましょう。

電柱・電線にも注意!

倒れそうな電柱、垂れ下がった電線は非常に危険です。近づいてはいけません。



電車などの車内では!

つり革、手すりなどにしっかりつかまり、非常停車時は乗務員の指示に従いましょう。



車の運転時に避難する時!

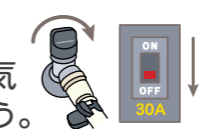
貴重品を持ち、緊急車両の妨げにならないよう、キーを付けたままドアロックせずに避難します。



地震発生後にとるべき行動

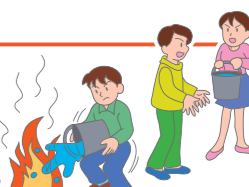
出火防止対策

ガスの元栓を閉め、電気ブレーカーを切りましょう。



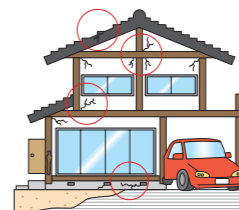
消火・救出活動

周囲と協力して消火や救出活動を。困難な場合は消防に通報しましょう。



正確な情報の収集

ラジオやテレビなどで正確な情報を収集して、的確な判断をしましょう。



自宅の確認・備蓄品の確認

自宅の安全が確認できたら避難の必要はありません。3日間程度は自力でしのげるように、生活必需品を備えておきましょう。

避難するとき

倒壊や火災で自宅にいらなくなったときは、まず近くの避難場所に避難し、状況が落ち着いたら避難所へ避難しましょう。避難所では、ルールを守って、助け合って生活しましょう。